

事務事業名	耕作放棄地解消事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	22	終了	
H27担当課等名	農業課		H27係等名	農村振興係		H26係等名	農村振興係					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり									
目的	対象(誰・何を)	耕作放棄地						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	再生利用する							耕作放棄地面積(ha)		537.3	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	耕作放棄地解消面積(ha)				5	73.7	3	5	耕作放棄地判定基準の変更(H25～)		
	成果指標	再生交付金事業実施面積(a)				30	66	100	100			
	定性目標											
事業概要	<p>農業振興地域内の荒廃した農地の再生作業(障害物除去、深耕、整地等)を耕作放棄地再生利用交付金を活用し、実証ほ場として市が実施する。再生作業後は耕作者を確保し農地として活用してもらい、展示・PRをし、耕作放棄地対策の気運を高める。実際には、耕作放棄地対策協議会である飯田市農業振興センターが事業主体となり、補助残部分を市が負担する。</p>											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	1 耕作放棄地再生利用アドバイザー養成業務の実施 委託先 NPO法人みどりの風 業務内容 遊休農地の現地確認、再生方法検討と分析結果の図面整理					1 調査実施地区			1 16地区			
	2 再生交付金を活用した耕作放棄再生面積 大瀬木A地区 再生面積 29a 下久堅下虎岩地区 再生面積37a					2 耕作放棄再生実施面積			2 66a			
	3 農地中間管理業務受託 受付窓口設置、集落説明会の開催、事業PR					3 借受希望申込件数			3 6件			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		0	5,836	3,186	188	(県)緊急雇用創出事業補助金(10/10) (そ)農地中間管理業務受託料 26→27 繰越明許費 1,300千円						
国庫支出金			1,300									
県支出金			3,000	3,000	185							
起債												
その他			186	185								
一般財源		0	1,350	1	3							
人件費計(千円)②		715		0								
正規職員所要時間		200										
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		715	5,836	3,186	188							
事業内容・目標達成状況の振り返り	優良農地として昭和50年代には場整備を行った果樹団地の中に、耕作者が高齢化し放置された放棄地に対して、交付金を効果的に使用してモデル的に整備事業を実施した。今後は、整備が完成した後、新たな担い手へ繋いでいく必要がある。											
改革改善の考え方	①問題点	平成26年度に耕作放棄地全筆の現地踏査を終了し、地域の課題として積極的に耕作放棄地解消に向けたモデル事業を実施する体制整備が急務である。										
	②改革提案	各地区農業振興会議を中心に認定農業者、認定新規就農者を含めた新たな担い手による解消計画を策定して、モデル的に解消事業を推進していく。										